

平成 28 年度 公益財団法人わかやま産業振興財団事業計画

平成 28 年度公益財団法人わかやま産業振興財団事業計画を次のとおり定める。

1 わかやま企業成長戦略事業(経営・販路)

(1) 中小企業支援センター事業

ア 窓口相談事業

① 総合相談窓口事業(相談想定件数 300 件)

中小企業者等が抱えるマーケティング、資金等の問題について、プロジェクトマネージャーが相談に応じる。

② 下請かけこみ寺相談事業(16 件 うち弁護士相談 7 件)

中小企業者等が抱える取引適正化・苦情紛争処理等の問題について、弁護士等が相談に応じる。

イ 情報整備・提供事業

財団ネットワークシステムの管理、運営を行うとともに、県内中小企業に対して、ホームページや財団サポートメールによる情報提供を行う。

- ・サポートメール件数(毎週配信) 約 2,700 件
- ・ホームページアクセス件数(年度計) 約 750,000 件

ウ 委員会運営事業

事業可能性評価委員会等を開催し、「連携体共同研究計画」等を評価し支援先を決定する。

(2) 専門家設置事業・(3) 専門家派遣事業

プロジェクトマネージャー 1 名及びインキュベーションマネージャー 1 名を配置し、中小企業者等が抱える課題の解決に向けて下記の事業を実施する。

ア 企業プロデュース事業

県内のやる気ある企業に対して、新たなビジネスモデルや「儲かる仕組み」をプロデュースする専門家 11 名からなるチームを組織し、企業の経営革新、第 2 創業、新製品開発及び販路開拓等企業のビジネスプラン実現への取り組みを支援する。

また、専門家プロデュースチームによる会議を 3 回開催し、支援企業の選定並びに専門家の選定や支援の方向付け等の検討を行う。

- ・選定企業予定数 35 社
- ・延派遣予定回数 100 回

イ 専門家派遣事業

創業や企業経営の向上を目指す中小企業者等に対し、経営・技術・情報化等に関する中小企業診断士や技術士等の専門家を派遣し、助言・指導を行う。

- ・派遣企業予定数 21 社
- ・延派遣予定回数 210 回

ウ ものづくり支援アドバイザー事業

先進企業のノウハウを中小企業に蓄積するため、ものづくりに関する技術改善、生産管理等総合的なアドバイスを行うことができる先進企業 OB チームを県内企業に派遣する。

- ・派遣企業予定数 3 社
- ・延派遣予定回数 30 回

(4) 経営支援事業

ア 経営革新事業

経営革新計画認定事業者が取り組む新商品等の開発、販路開拓のための展示会出展等に要する経費の一部を助成する。

・補助企業数 2件 補助額 6,000千円

イ 販路開拓事業

自社開発した新商品等の販路開拓のため、国内展示会への出展に要する経費の一部を助成する。

・補助企業数 10件 補助額 5,000千円

(5) 受発注情報収集・提供事業

ア 企業登録の推進事業

企業訪問等により下請取引情報提供の基礎となる受・発注企業の登録を推進する。

イ 受発注情報収集提供等の促進事業

県外大手企業の発注計画や発注ニーズについて、財団独自の発注アンケート調査や取引推進専門員による発注企業開拓訪問などにより情報を収集するとともに、当該情報を県内登録企業に提供することにより、取引あっせんに努める。

ウ 企業情報収集提供等の促進事業

受発注案件、取引改善関係法令及び財団事業等を掲載した情報誌「財団だより」を毎月発行し、情報提供を行う。また、登録企業の自社製品、加工技術を掲載した「中小企業ガイドブック」を作成し、県外発注企業約800社に配布するとともに、新規取引先の拡大と取引あっせんに努める。

エ 商談会等開催事業

県外の手前メーカー等を招へいし、受注企業とのマッチングの場を提供する取引商談会を和歌山市、大阪市、京都市においてそれぞれ1回開催し、取引先の開拓、取引あっせんの円滑化に努める。

・取引商談会（予定）

参加企業 発注企業 300社 受注企業（県内） 100社

(6) 成長企業支援事業

地域におけるリーディングカンパニーの育成・支援を目的とし、人的資源の充実により成長が期待できる中小企業者に対し、各部門の中核をなす人材を導入する経費の一部について支援を行う。

・補助企業数 10件 補助額 10,000千円

(7) ものづくり改善支援事業

和歌山ものづくり経営改善スクールを設置し、県内中核企業の「ものづくり現場」において「木も見て森も見られる」リーダー的自社人材の継続育成を進め、当該企業が継続的・自律的に経営改善・競争力構築を行うことができる力を身につけることを目指す。同時に、ものづくりの現場経験、とりわけ生産管理、製造管理、品質管理等の分野での経験豊富な県内シニア人材を当該スクールにおいて再教育し、インストラクターとして県内の中小・小規模事業者の主に短中期的な経営改善・現場改善の指導にあたらせ、中小企業・小規模事業者の競争力構築に寄与することを目指す。

・養成者数 12名 インストラクター派遣企業数 2社

(8) 和歌山県よろず支援拠点事業

中小企業庁の事業として、中小企業・小規模事業者のための経営相談所「よろず支援拠点」を全国各都道府県に1箇所設置し、売上拡大、経営改善、経営上の相談等に対応し、相談等課題を分析し、アドバイスや課題の解決を行う。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が本部となり、当財団に「和歌山県よろず支援拠点」を設置し、チーフコーディネーター、コーディネーターが中小企業・小規模事業者の支援を行う。

・業務全般相談対応件数目標 3,000件

| | |
|--------------|--|
| ①経営革新支援 | <p>販路拡大、販路開拓支援において、よろず支援拠点の専門家を活用したミニ勉強会を開催し、相談事業者の考える力を高め、その上でミラサポの専門家派遣や中小企業基盤整備機構の販路開拓コーディネーター事業等を活用し支援する。</p> <p>売上拡大における知的財産活用の重要性を認識してもらい、販路拡大支援を実施する。</p> |
| ②経営改善支援 | <p>金融機関への「経営改善計画書」や「事業計画書」策定の支援及びブラッシュアップを実施する。また、県信用保証協会の「経営改善計画策定支援事業」の活用や再生支援協議会との連携による支援を実施する。</p> |
| ③ワンストップサービス | <p>よろず支援拠点のコーディネーター等を中心に、財団ネットワーク（国、県等自治体、大学、金融機関、認定支援機関（商工団体等））を活用したワンストップサービスを実施する。</p> <p>よろず支援拠点で構築したネットワークを活用して、適切な支援機関等に迅速につなぐとともに、フォローアップの支援を実施する。</p> |
| ④支援機関等連携強化業務 | <p>県内の各支援機関、自治体、金融機関、国等が一同に会する情報交換会を年2回開催する。</p> <p>域内の商工会議所、商工会との共催による創業支援等の相談会を開催する。</p> <p>和歌山県商工会連合会が主管する「わかやま中小企業支援プラットフォーム」担当者連絡会議に参加し、連携強化を図る。</p> |

(9) 和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点事業

地域と企業の成長戦略の実現のため、新規事業の創出、既存事業の拡大・生産性の向上などをリードすることができる「プロフェッショナル人材」の中小企業への活用を推進すべく、プロフェッショナル人材戦略拠点事業を実施する。

地域の中小企業の「攻めの経営」や経営改善の意欲を喚起し、大企業等において事業企画・運営等に豊富な実績のあるプロフェッショナル人材の活用を推進することにより企業の経営革新の実現を支援するとともに、都市圏等に居住するプロフェッショナル人材の本県へのU I Jターンを促進する。

| | |
|---------------------------------|---|
| プロフェッショナル人材ニーズの調査、経営改善の意欲喚起 | <p>潜在的成長力のある中小企業を発掘し、プロフェッショナル人材の活用により成長が見込める企業に対して「攻めの経営」や経営改善の意欲を喚起する。</p> |
| 民間人材ビジネス事業者、産業支援機関及び地域金融機関等との連携 | <p>求人ニーズの把握やプロフェッショナル人材活用への橋渡しを効果的に行うため、民間人材ビジネス事業者、産業支援機関及び地域金融機関との連携を確立する。</p> <p>これらの関係機関との連携を強化し、事業を効果的に行うため、県内関係行政機関、産業支援機関、地域金融機関及び</p> |

| | |
|---------|--|
| | 経済団体等から構成する「和歌山県プロフェッショナル人材戦略拠点協議会」を開催する。 |
| セミナーの開催 | 地域の中小企業を対象に成長戦略とプロフェッショナル人材の必要性について、マインド醸成のためのセミナーを開催する。 |
| 相談窓口の設置 | 中核となる人材の確保を検討している中小企業に対して相談窓口を設置する |

2 わかやま企業成長戦略事業(技術・研究)

(1) 研究開発強化事業

ア 未来企業育成事業

県内中小企業の研究開発支援として、産学官の活発な人事交流と情報交換等を通じて事業化への芽を育むとともに、連携体が実施する共同研究を支援することにより、新事業創出を推進する。

委託額 1件当たり、50万円以上400万円以内

採択件数 5件程度

(2) 技術・知的財産強化事業

ア 知的財産戦略設置事業

① 新事業支援コーディネーター(相談想定件数150件)

県内企業が保有する知的財産や技術を活用したビジネスモデルの構築に対するアドバイスや県内企業の技術ニーズと大学や公設試験研究機関が保有する特許・技術シーズのマッチングによる事業化を支援等する新事業支援コーディネーターを設置する。

② 技術連携コーディネーター(相談想定件数100件)

県内企業訪問によるシーズ・ニーズの発掘を行うとともに、大学や公設試験研究機関等が持つシーズを把握し、それらをマッチングさせることにより産学官の技術連携による研究開発を支援等する技術連携コーディネーターを設置する。

③ 科学技術コーディネーター(相談想定件数30件)

公設試験研究機関の研究成果の技術移転、公募型研究開発資金獲得のため産学官連携による研究開発プロジェクトの立案を支援等する科学技術コーディネーターを設置する。

イ 新技術育成情報活用支援事業(調査想定件数150件)

先端分野に係る研究開発を目指す県内中小企業の相談に応じ、商用データベースを活用し、研究テーマの立案・ブラッシュアップ、技術の権利化に必要となる先行特許情報や学術論文等の基礎的調査を行い、情報提供、相談等に応じる。

3 国際経済交流支援事業

県内企業の国際的なビジネス活動を支援するため、相談員2名を設置し、貿易・投資等の相談に応じる。また、貿易実務講座、国際経済セミナー等の各種セミナーを開催し、グローバルな経済、貿易等、最新情報の提供を行う。

加えて、総合商社などのOBをビジネスアシスタントとして県内中小企業に派遣し、海外での商談アレンジや通訳、商品開発へのアドバイスなど、海外ビジネス実現のための総合的なサポートを実施する「海外ビジネス実現事業」を行う。

4 わかやま中小企業元気ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済」を目標に「地域経済を支える中小企業を育成・振興し、足腰の強い地域産業の創出・育成」の実現を図るため、中小企業者等が取り組む地域資源を活用した新商品・新サービスの開発、中小企業者等と大学、国立工業高等専門学校、公設試験研究機関との共同研究等から生まれた研究成果の事業化に対して支援を行う。さらに、商工会議所等が取り組む新たな事業構想を発掘するためのコーディネート活動に対して支援を行う。

また、優れた自社製品、産品を有する県内企業と県内外の購買企業との商談の場「わかやま産品商談会」を和歌山市において開催するほか国内専門展示会に集団出展するなど、新規取引先の開拓等販路拡大の支援を行う。

(平成 28 年度採択予定件数・金額)

| 事業区分 | | 予定件数 | 助成予定額 | 備考 |
|----------|-------|------|------------|-----------------------------|
| 地域資源活用事業 | 新規採択分 | 36 | 84,586 千円 | |
| | 継続事業分 | 4 | 8,154 千円 | 2 年事業の 2 年目 (H27 年度採択事業) |
| 新産業育成事業 | 新規採択分 | 20 | 112,000 千円 | |
| | 継続事業分 | 5 | 30,290 千円 | 2 年事業の 2 年目 (H27 年度採択事業) |
| 産業支援機関事業 | 新規採択分 | 8 | 8,000 千円 | |
| 計 | | 73 | 243,030 千円 | |

5 わかやま農商工連携ファンド事業

「活力あふれる元気な和歌山経済の創造」の実現に向け、県内中小企業者等と農林漁業者とが連携して取り組む新商品の開発等に対し、支援を行う。

(平成 28 年度採択予定件数・金額)

| 予定件数 | 助成予定額 | 備考 |
|---------|-----------|-----------------------------|
| 新規 10 件 | 42,848 千円 | |
| 継続 1 件 | 2,426 千円 | 2 年事業の 2 年目 (H27 年度採択事業) |
| 計 | 45,274 千円 | |

6 わかやま産品販促支援事業

「わかやま産品販路開拓アクションプログラム」に基づき、県内企業が持つ優れた製品・技術力等を効果的に売り込むため、海外での個別商談会や国内での大手企業との個別面談会を開催するとともに国内外の著名展示会への出展に対して支援を行う。

(1) 海外

ア 海外展示会への集団出展支援事業 (予定: 5 社)

1 1 月にタイで開催される展示会「タイ・メタレックス」(主に機械加工部品等の展示会)並びに 2 月にミラノで開催される展示会「ミラノウニカ」(主に繊維、パイルの展示会)に、和歌山ブースを設けて支援を行うことにより、県内中小企業の商談の機会を創出していく。

イ 海外展示会への個別出展支援事業 (予定: 6 社)

県内中小企業が持つ優れた製品・技術力を効果的に発信するため、海外の専門的な展示会へ出展し海外市場の開拓に取り組む中小企業者に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

ウ 海外ビジネスミッションの開催（予定：3回）

今後、経済成長が見込める地域を中心に、海外での商談会、プロモーション及び市場調査等の事業を幅広く実施することで、県内企業の海外展開を支援する。

(2) 国内

ア 大手企業との面談会 2社を予定

イ 専門展示会への集団出展

| 展示会名 | 参加予定数 | 開催日 |
|-----------------------------|-------|----------------|
| 第20回機械要素技術展 | 10 | 平成28年6月22日～24日 |
| 第82回東京国際・ギフト・ショー秋2016 | 10 | 平成28年9月7日～9日 |
| IFFT/インテリア ライフスタイルリビング 2016 | 6 | 平成28年11月7日～9日 |
| 第46回 インターネプコン ジャパン | 6 | 平成29年1月18日～20日 |

7 販売力強化支援事業（わかやまビジネスサポートセンター）

わかやま産品販路開拓アクションプログラムの国内戦略の強化を行うため、積極的な首都圏展開を目指す県内企業に対して営業拠点を提供するとともに ABIC（特定非営利活動法人国際社会貢献センター）の協力を得ながら専門家の派遣を行う。

8 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業事業計画確認事業

経営革新等支援機関として、革新的なものづくり・サービスの提供等にチャレンジする中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の事業計画の策定にあたって助言・支援を行うと共に、策定された事業計画の実効性等について確認する。

9 債権管理事業

貸与、貸付金の償還が滞っている債務者に対し、電話・訪問等により債権の回収に努めるとともに適正な債権管理を行う。

10 わかやま産業技術振興事業

(1) 技術研修事業

県内中小企業の技術人材の育成を図るため、製造現場の管理技術等のテーマを選定し技術研修を開催する。また、小学生、中学生を対象に科学に対する興味を深めてもらい、未来の研究者、科学者育成を目指して科学実験工作教室を開催する。

ア 基礎技術講座

・講座回数 6回

| 内容 | 開催日・場所 | 日数 | 定員 |
|-----------------------------------|--------------------|----|-----|
| 品質管理 不良の真因追求の徹底による品質管理 の在り方 | 平成28年5月 和歌山ビッグ愛 | 3日 | 30名 |

| | | | |
|---|---------------------------|-----|------|
| 納期生産管理 小日程計画と進捗管理による納期管理 と生産期間の短縮方法 | 平成 28 年 6 月 和歌山ビッグ愛 | 3 日 | 30 名 |
| コスト管理 原価の仕組みと原価低減活動の仕組み作り | 平成 28 年 9 月 和歌山ビッグ愛 | 3 日 | 30 名 |
| 現場改善 強いモノづくり現場目指す改善の進め方 とコツ | 平成 28 年 10 月 和歌山ビッグ愛 | 3 日 | 30 名 |
| 人材育成 製造業のリーダー育成ポイント | 平成 28 年 11 月 和歌山ビッグ愛 | 3 日 | 30 名 |
| 食品製造業 食品製造業品質管理者 | 平成 28 年 10 月 B i g - U | 1 日 | 30 名 |

イ 夏休みのおもしろ科学の実験工作教室

- ・ 8 月 1 日間 田辺市開催 参加者定員 30 名
- ・ 8 月 2 日間 和歌山市開催 参加者定員 42 名

(2) 専門技術研究会事業

県内の様々な産業分野における専門技術や専門知識等の普及と参加企業相互の情報交換を図るため、公設試験研究機関、大学等の研究員が主宰する専門技術研究会の運営を助成する。
研究会数 9 研究会

(3) 情報提供事業

財団の活動、事業及び財団支援を活用した事業成果等を紹介する広報誌「わかやま産業通信」を作成し、県内事業者や関係機関等に配布する。
発行回数 年 2 回

(4) 技術交流促進事業

和歌山県内の大学・工業高等専門学校・公設試験研究機関が保有する技術シーズを公開し、産学官の連携促進と人的交流を図るとともに、共同研究や技術移転等を推進するため、「わかやまテクノ・ビジネスフェア」を開催する。

(5) 企業交流促進事業

話題提供者を中心に、自然科学・人文科学を含む広い範囲のテーマについて理解を深めるとともに、各分野の参加者が自由な立場で出会い、産学官のより一層の交流を図るため、テクノサロンを開催する。
開催数 6 回

(6) 広域的新事業支援連携事業

ア 若手研究者・学生による研究成果発表会

和歌山大学、近畿大学、企業等による産学官連携を推進するため、若手研究者と学生による研究成果発表会等を開催し、最新の技術と知識の普及を図る。

イ ワンディ・W I N T E C 出張技術相談会

県内企業の技術力の向上と研究開発を支援するため、工業技術センターの利用事例などの業務紹介、情報提供及び当財団業務の紹介、情報の提供及び相談事業を行う。

ウ 林業・水産技術成果発表会

林業・水産技術に係る試験研究機関の成果発表を行うとともに、当財団が行う林業・水産技術を活用した商品開発等の補助金等を紹介する。

1 1 中小企業知的財産戦略支援事業

中小企業等外国出願支援事業

外国で産業財産権を戦略的に活用し、経営の向上を目指す県内中小企業に対して、外国への特許・実用新案・意匠・商標出願を支援する。

予定件数 8 件

1 2 戦略的基盤技術高度化支援事業

近畿経済産業局の大型研究開発事業で、共同体（事業管理機関の財団と県内企業、大学、公設試験研究機関等の研究等実施機関で構成）として補助を受け、研究開発事業を実施する。

- 1 (1) 採択テーマ：メタボローム分析の高精度・ハイスループット化に資する試料自動前処理・注入技術及び装置の開発
- (2) 共同研究体：(株)アイスティサイエンス、国立大学法人大阪大学、和歌山県工業技術センター
- (3) 事業実施期間：平成 26 年度～平成 28 年度
- 2 (1) 採択テーマ：36Gシンカーベロア編成技術による極細高密度パイルトナーシール材の開発
- (2) 共同研究体：青野パイル(株)、三和テクノ(株)、和歌山県工業技術センター
- (3) 事業実施期間：平成 27 年度～平成 29 年度

1 3 地域イノベーション戦略支援プログラム事業

文部科学省補助事業（最長5年間、平成24年度～）

テーマ名：「地域資源を活かした健康産業イノベーション

～県民健康力の向上と保健機能製品の世界展開～」

事業概要：「医・農」分野の中核的研究者の集積を図り、県特産農産物由来の機能性成分の研究を行う。また、「食・健康・運動」に関わる人材の育成と配置を行う。

参画機関：(公財)わかやま産業振興財団、近畿大学、和歌山県立医科大学、和歌山大学

行事：シンポジウム、成果報告会 各年1回

展示会 平成28年11月予定

外部評価委員会 年1回

農産物有用化合物活用研究会 年4回

1 4 戦略産業雇用創造プロジェクト事業

厚生労働省補助事業（最長3年間、平成28年度～）

事業概要：和歌山県が策定した第二次和歌山県産業技術基本計画で設定している戦略産業分野等において、4つの視点からなる雇用創出に関する6つの事業と人材確保・育成に関する2つの事業を実施し、県内企業の成長力を強化し、安定的で良質な雇用を創出する事業で、厚生労働省から和歌山県が補助を受け、和歌山県から(公財)わかやま産業振興財団が事業（一部を除く。）を受託して実施する。

実施主体：和歌山県（労働政策課・企業振興課・産業技術政策課）

受託事業：①和歌山県戦略産業雇用創造プロジェクト運営事業

②戦略産業事業拡大支援事業

③戦略産業市場参入支援・IT化促進事業

④ものづくり人材確保・育成事業